

Minato Creative Learning

SDGsの楽しみ方

株式会社NICO

代表取締役 石塚めぐみ

趣旨

ものごとの楽しみ方を
その道で実際やっている人たちに
超ゆるく教えてもらいます。

なので、編集もゆるめです。
(そして全部一発どりです)

聴きたいこと

- 石塚 めぐみさんってどんな人？
- なぜSDGsなの？
- どうやってSDGsを楽しんでるの？
- 具体的にSDGsやってて楽しかったエピソードは？
- SDGsを楽しんでどんないいことありました？
- この先どんなことやりたいの？
- この動画を見てくれた方たちに伝えたいことはなんですか？

石塚 めぐみさんってどんな人？

組織活性化ファシリテータとして
みんなが笑顔になれる社会を目指し
中小企業の支援に取り組む

SDGsに一人一人が取り組むためには
中小企業の社長がしっかり理解し、
従業員さんと一緒に
会社を良くすることを通じて
世界を良くしていこう！

そのための社内ファシリテーター育成が
大きなテーマになっている



なぜSDGsなの？

SDGsに対して中小企業は興味が薄く、
「それって儲かるの？」という反応が多い。

2050年には中小企業は半分になる危機感は強く、
社会に必要とされる事業でないと生き残れない、
＝社会課題にコミットすることが必要。

その象徴がSDGsであり、
実際に取り組むことによって事業を変革し
成長へのシナリオを描いている中小企業はある。

この変革の可能性とその成長シナリオを
一緒に形にしていったら楽しいそう！



どうやってSDGsを楽しんでるの？

企業によりどうやるか、どこまでやるかは異なる、その多様性が楽しい。

その違いを楽しむために共通のフレームワークとしてSDGsコンパスやSDGsカードゲームなどを活用。

その会社の特性が出現してきて、とくに当事者意識を持ってもらえると楽しい。

さらに具体的に自社の可能性や向き合うべき問題が整理されるとワクワクするし、プロジェクトが立ち上がるとすごい楽しい！



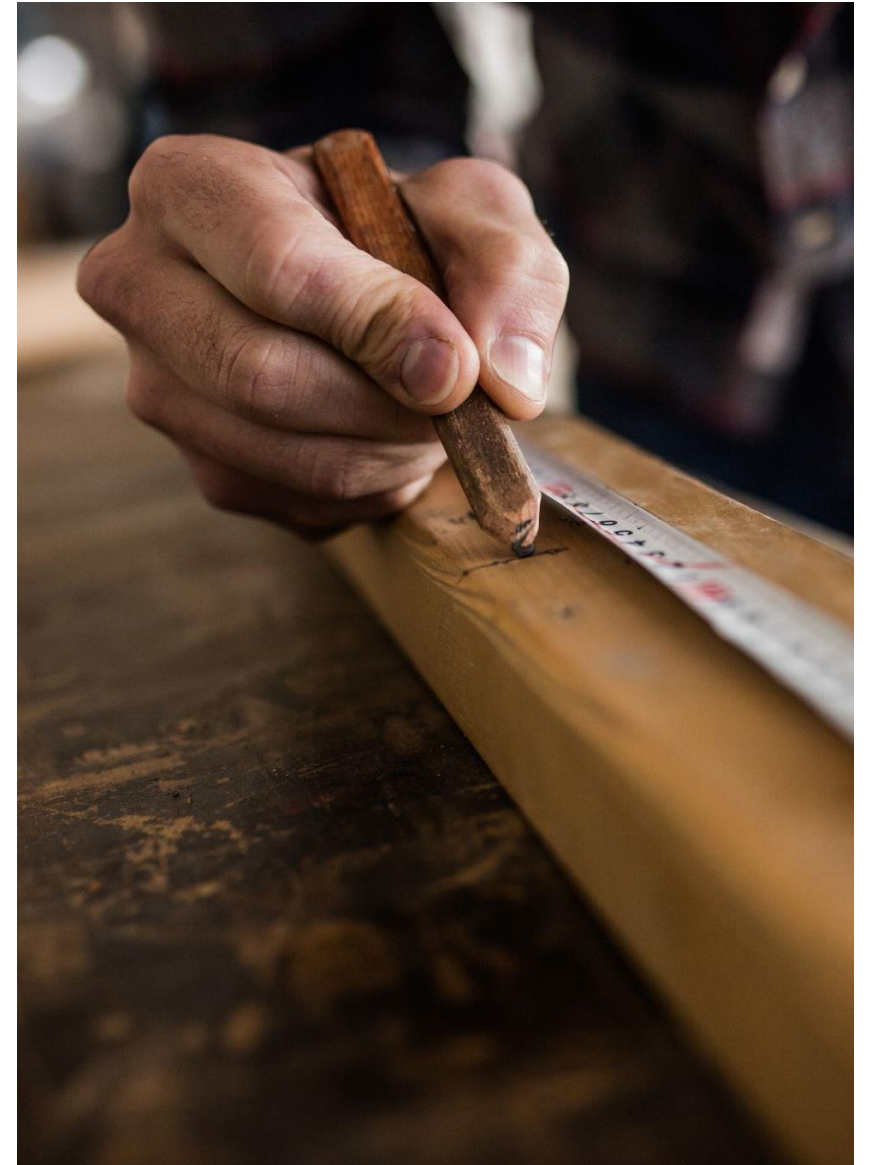
具体的にSDGsやってて楽しかったエピソードは？

プロジェクトチームで一つ形にして、
全社に広まって言ったケースが面白い。

ある製造業の若手からシニアの混成チームでは
自社の扱っていたゴム製品の廃棄していた部分を
お客さんからのアイディアで探究して
医療器具として提供するまでに至った。

若手から自分たちの将来に対してのコミットを
シニアの経営幹部に求めたことによって、
全社の意識変革にもつながっていった。

小説のようなドラマがたくさん起きているのが最高！
そこにアクセントを入れるのが楽しい。



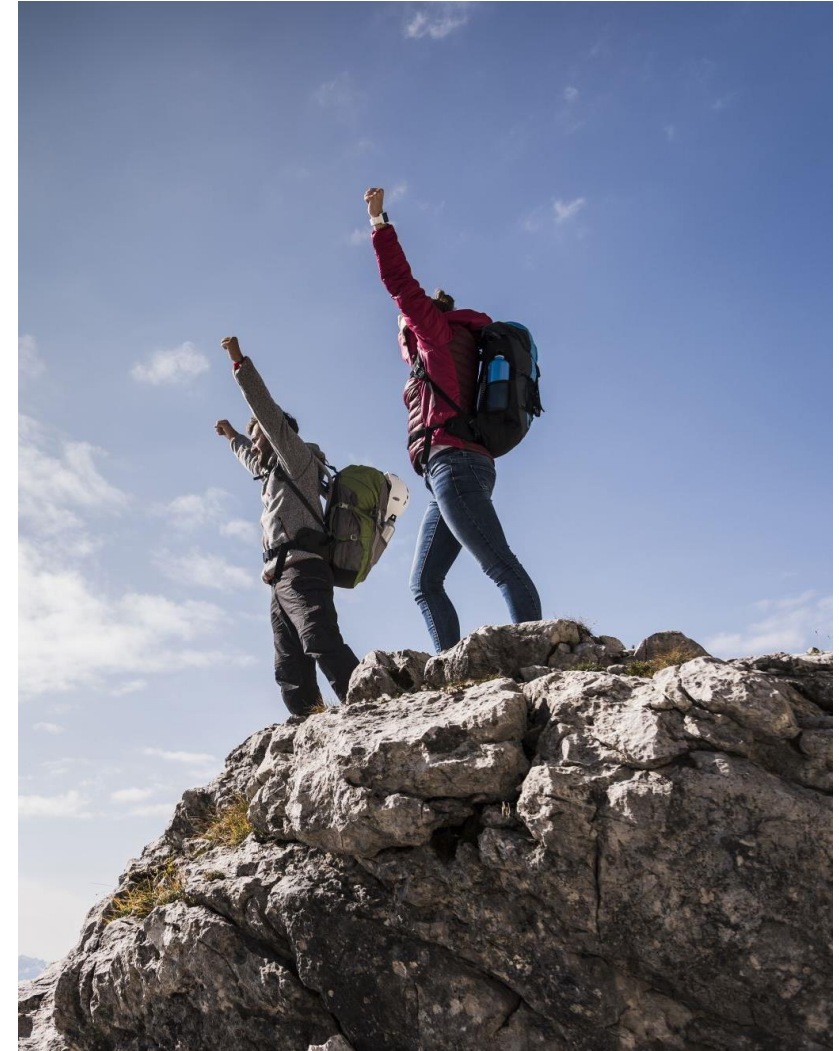
SDGsを楽しんでどんないいことありましたか？

未来をよりリアルに想像するために
未来年表から視野を広げたり、
視座を高めることができた。

生きがいチャートをやってみることで
自分自身のやりたいこと = 生きがいを見つけられた。

自分でやるだけでなく周りに提供することで
喜んでもらえることがうれしいし、
そこからの気づきもたくさんあり、
具体的に今のお仕事につながっている。

SDGsは儲かることが証明できた！



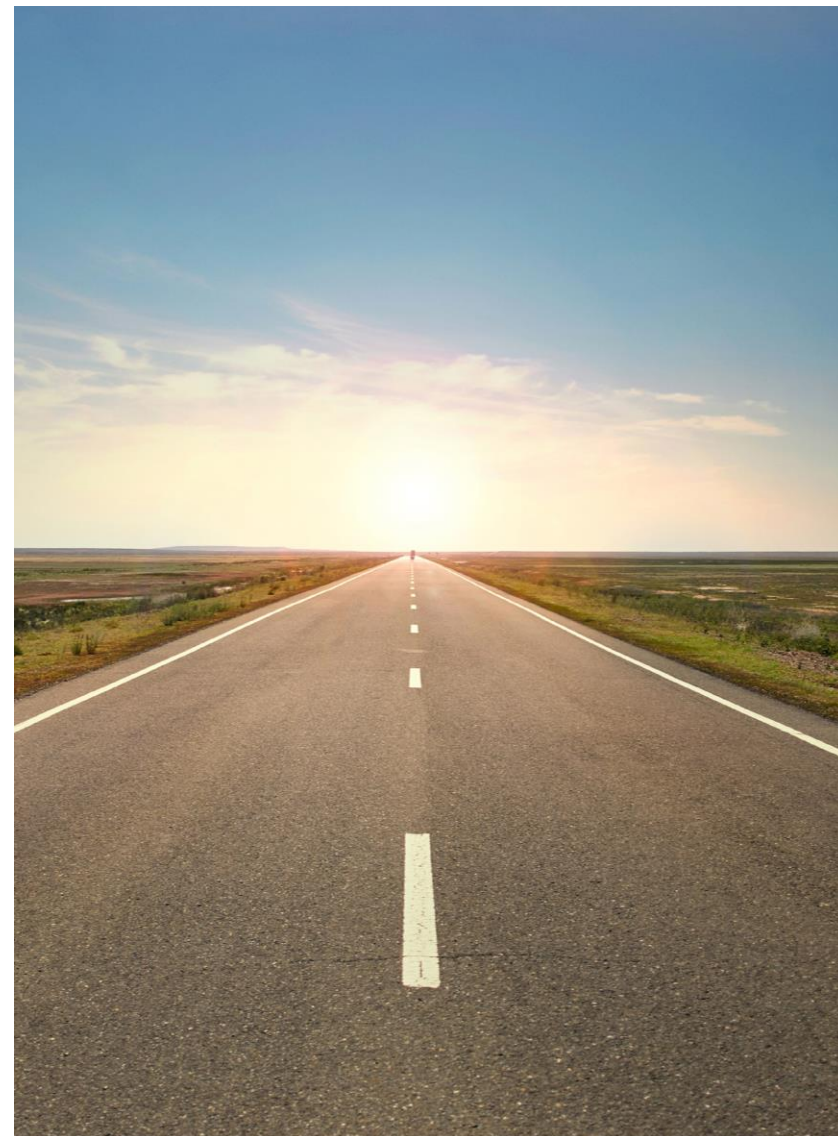
この先どんなことやりたいの？

社会課題解決を事業成長に結びつけている
中小企業も少なく、その支援ができる人が少ない。

中小企業はもちろんのこと、
社会に対する想いのある経営者はたくさんいる。

同時に地域の特性も考える必要もある。

社会課題と経営を結び付けて、
中小企業をはじめとする企業活動を
支援できる人をいろいろな地域で増やしていきたい、
そして社会とともに成長する企業の輪を増やしたい。



この動画を見てくれた方たちに 伝えたいことはなんですか？

組織の制度やルールはたくさんあるが
場やプロセスを創ることが足りていない。

だから、とくに経営者の方たちと
対話と協働するための場を創っていききたい、

なぜこの会社をやりたいのか、
その先に何を創り出したいのかを表現し、
会社というチームが成長するための
プロセス（シナリオ）を描いていききたい！

話を聴かせて！



やったもん勝ち！

minoto
creative
guild